

集団感染に注意！

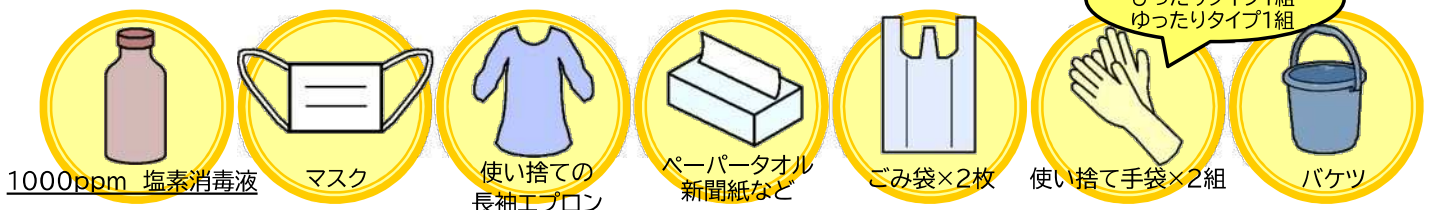
感染性胃腸炎の報告が増えています



感染性胃腸炎の原因となる「ノロウイルス」は、感染力が強く、環境(ドアノブ、カーテン、リネン類、日用品など)からもウイルスが検出されます。ノロウイルスは、アルコール消毒の効果がありません。次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒し、感染性胃腸炎のまん延を防止しましょう。

吐物処理セットの準備

ノロウイルスによる嘔吐は、何の前触れもなく起こることがあります。その時にあわてないように、普段から吐物処理に必要なものを1ヶ所にまとめておきましょう。



- 「次亜塩素酸水」「除菌水」などと称して販売されている商品は、次亜塩素酸の濃度が低いため、嘔吐物処理には使用しないでください。処理が不十分になるおそれがあります。

吐物処理方法 (汚染を拡げない)

<ul style="list-style-type: none"> ◇ ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、これが口に入って感染する。 ◇ 吐物を処理する前に、窓を開けて、十分に換気を行う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇ マスク、手袋、エプロン等を着用した後、吐物を古布などで覆い、上から消毒液をかける。 ◇ この時、消毒液はスプレータイプの容器で噴霧しない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 外側から内側に方向に吐物を拭き取り、古布をごみ袋に捨て、消毒液をかける。 ◇ 吐物から半径約2mの範囲内を消毒する。 ◇ 使用した手袋、エプロン、古布などはビニール袋に密閉して破棄する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 最後に石けんと流水で、丁寧に手を洗う。 	